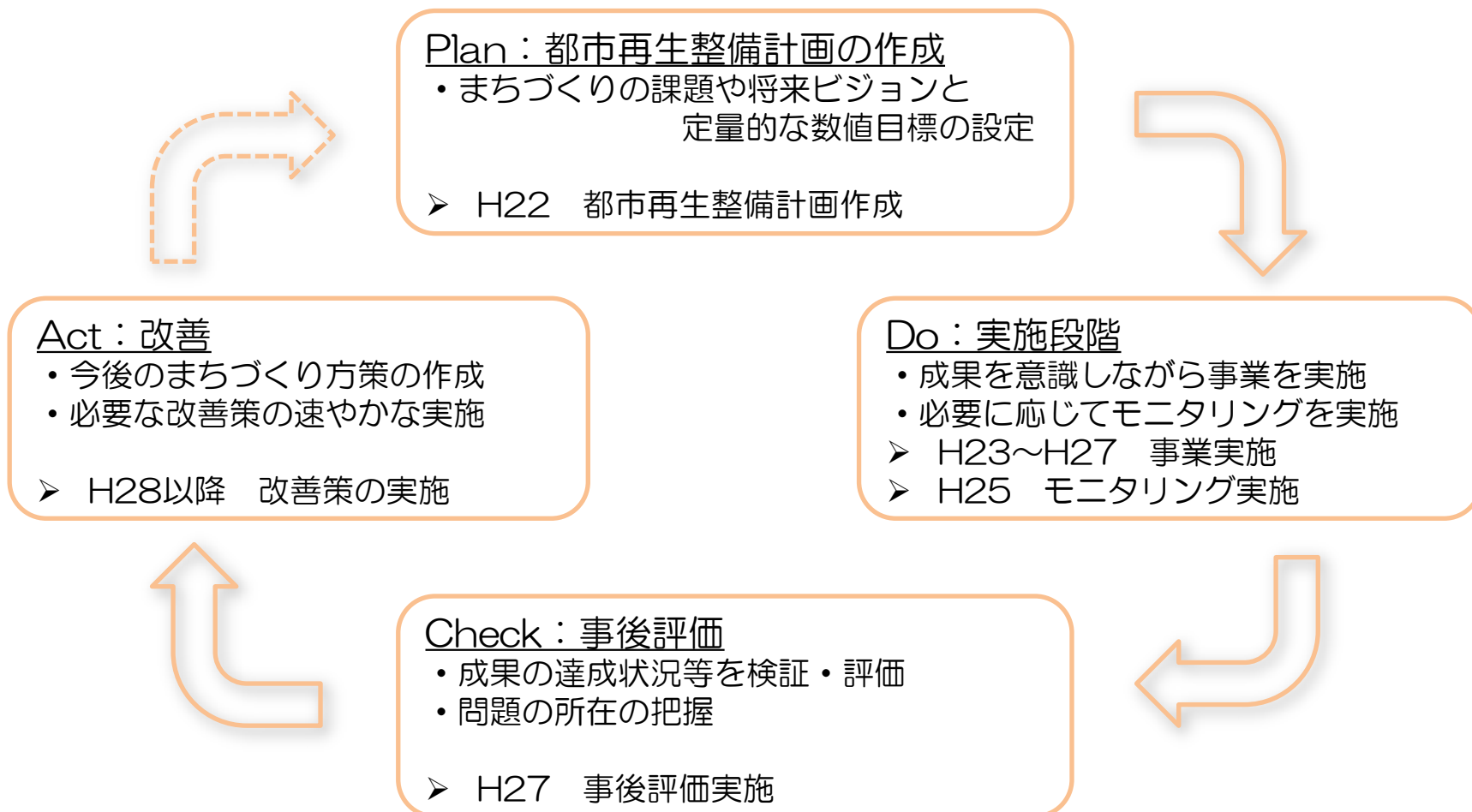


# 都市再生整備計画事業 事後評価制度の概要

平成28年1月

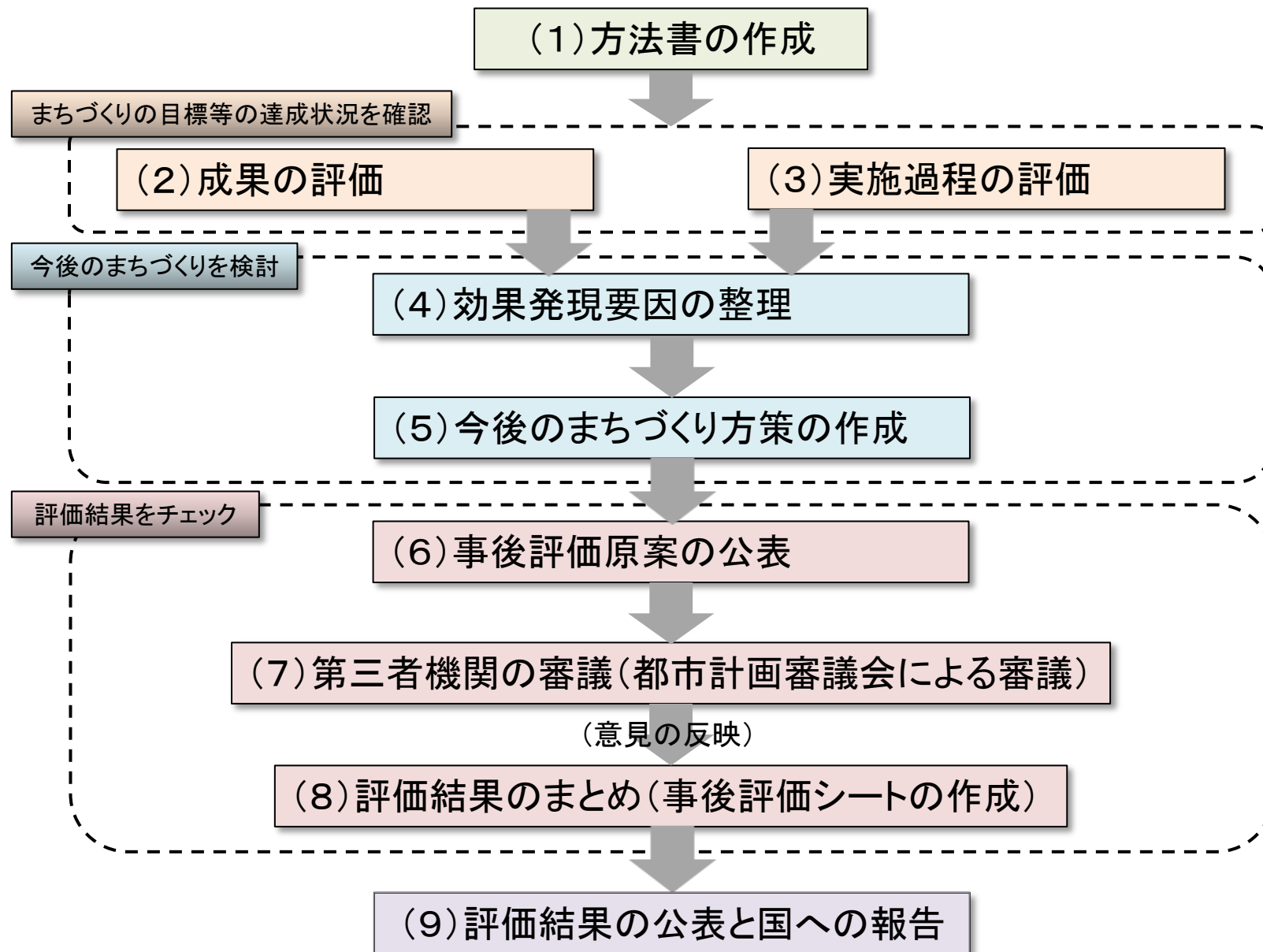
都市再生整備計画事業では、事業の計画段階で設定した目標の達成状況を評価することにより、事業の良否のみに終わらせず、今後のまちづくりにつなげていくことが特に重視されている。



# 事後評価の目的

- 1 各種事業がもたらした成果等を客観的に診断し、成否の要因を分析して、今後のまちづくりを適切な方向に導く。  
→PDCAサイクルに基づき、評価結果を踏まえた今後のまちづくりの方策を検討する。
- 2 事後評価の結果および今後のまちづくりの方策を、市民のみなさまにわかりやすく説明する。  
→事後評価原案の公表（平成27年12月14日～28日）  
事後評価結果の公表（平成28年3月下旬～）  
※国で定めた様式のほか、概要版を公表

# 事後評価の流れ



- 1 事後評価が適切に行われたことを中立・公平な立場で確認していただき、意見を求めること。  
→目標の達成状況の評価方法など、事後評価の進め方の妥当性
- 2 今後のまちづくり方策等について意見を求めること。  
→目標の達成状況の評価結果を踏まえて作成した、今後のまちづくり方策の妥当性

# 北の防人大湊地区 都市再生整備計画事業の概要

平成28年1月

# 事業計画概要

- 地区名：北の防人大湊地区
- 面積：510 ha
- 計画期間：平成23年度～平成27年度
- 交付期間：平成23年度～平成27年度
- 事業費：1,316百万円（交付対象額）
- 国費率：0.4
- まちづくりの課題

- ・公園施設は、完成からかなりの年月が経過し、魅力が失われている。
- ・園路や駐車場がバリアフリー化されていない。
- ・水源池公園周辺では、売店や軽食機能などの便益施設の未整備など、市民・観光客などの受入れ機能が低下している。
- ・観光資源として活用可能な明治時代からの旧海軍官舎等の施設について、市民・観光客の受入れ施設としての活用がすぐには難しい。

**→これほどの観光資源が集約され、景観も活かせるゾーンを、いかに活かして市民・観光客にとっての憩いの交流ゾーンとして機能させ、交流人口を拡大させるか。**

# 事業計画概要

## ■まちづくりの目標

### 大目標：地域住民や観光客のコミュニケーション・交流人口の拡大

目標 1：国の重要文化財「旧大湊水源地水道施設」や石造りの「旧大湊高校女子寮」「市文化財収蔵庫」「北洋館(海上自衛隊施設)」などの施設を活かした街並み景観づくり、歴史を感じる観光・交流づくりを行うことにより、市民や観光客が憩える場を創出します。

目標 2：高齢者、障がい者、市民、観光客、だれもが訪れたいくなる環境を創出します。

## ■目標を定量化する指標

指 標	単位	従前値	目標値
北洋館入場者数	人/年	5,577 (H21)	10,400 (H27)
認識度調査アンケート	%	19.2 (H22)	75.0 (H27)
イベント回数	回/年	3 (H22)	7 (H27)



## ■都市再生整備計画に記載し、実施した事業

## 【基幹事業】

## ◆道路（市道）

①宇田水源地線、②桜木町3号線、③桜木町4号線、④桜木町5号線、⑤桜木町9号線

## ◆公園

⑥水源池公園（管理施設、園路、施設改修）

## ◆地域生活基盤施設

⑦展望台ポケットパーク、⑧エントランスポケットパーク、⑨広場（収蔵庫周辺）、  
⑩広場（観光交流センター周辺）、⑪情報板

## ◆高次都市施設

⑫観光交流センター

## ◆既存建造物活用事業

⑬地域交流センター（学習センター）、⑭地域交流センター（収蔵庫）

## 【提案事業】

## ◆地域創造支援事業

⑮案内サイン、⑯便益施設（観光交流センター）、⑰便益施設（観光交流センター外構）、  
⑱撤去工事（公園管理棟、小屋）、備品倉庫整備

## ◆事業活用調査

⑲事後評価アンケート調査

## ◆まちづくり活動推進事業

⑳景観ルール策定、㉑観光PRポスター及びリーフレット作成

# 事業計画の変更

## ■計画変更の経緯

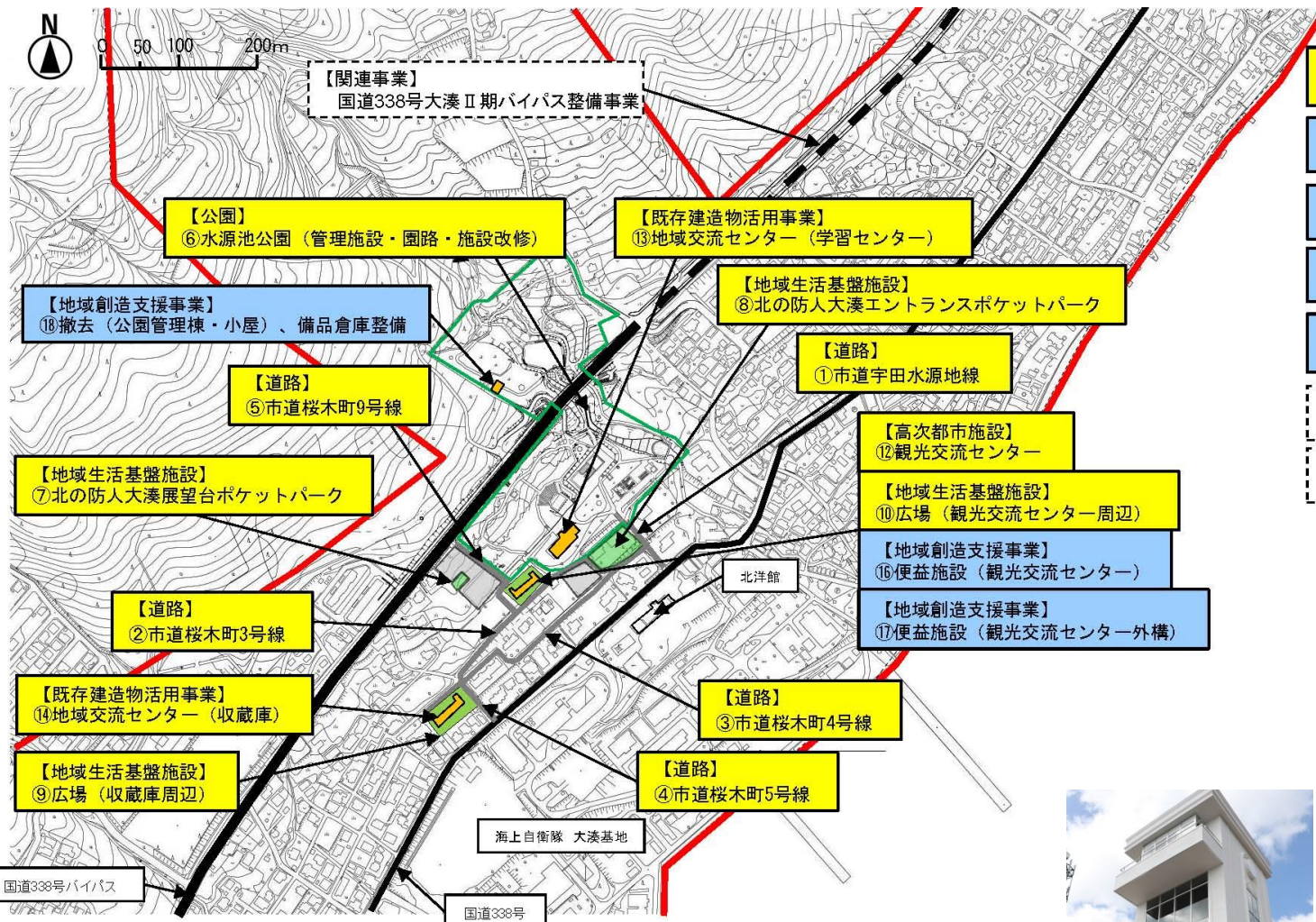
- ・平成23年 3月 当初計画
- ・平成25年 2月 第1回変更
- ・平成26年 2月 第2回変更
- ・平成26年11月 第3回変更

## ■計画変更の主な内容

- ・地域交流センター（旧女子寮）の削除  
→歴史的価値が非常に高いと判断されており、保存活用についての検討を行うこととしたため、計画期間内での完了が困難となったため
- ・備品倉庫整備の追加  
→イベントなどで使用する備品の管理倉庫が必要となったため、景観に配慮した備品倉庫の整備を追加

## ■計画変更に伴う目標・指標の変更

- ・変更なし



【地域生活基盤施設】  
⑪情報板（国道沿い案内デザイン標識）

【地域創造支援事業】  
⑮案内サイン

【事業活用調査】  
⑲事業効果分析調査

【まちづくり活動推進事業】  
⑳景観ルール策定ワークショップ

【まちづくり活動推進事業】  
21観光案内パンフレット作成

【関連事業】  
重要文化財建築物公開活用事業

【関連事業】  
重要文化財保存修理事業

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業
	都市公園



観光交流センター



地域交流センター（収蔵庫）



北の防人大湊  
エントランスポケットパーク



北の防人大湊展望台  
ポケットパーク



案内サインの一部

北の防人大湊地区都市再生整備計画事業  
事後評価手続き等について

平成28年1月

# 事後評価方法書の概要

■評価基準日：平成28年3月31日

- 評価基準日時点の評価値は入手不可能であるため、推計により評価する。
- 評価値を適正に計測するため、計測方法などを事後評価方法書に記載。

## 指標① 北洋館入場者数 【計測時点：平成27年10月1日】

◇海上自衛隊大湊地方総監部が計測しているデータを基に算出。

◇評価基準日時点のデータの入手は不可能。

→直近1年間の平成26年10月から平成27年9月までの入場者数を評価値（見込み値）とする。

◇全ての事業が完了していないため、事業の効果を十分に把握できない。

→フォローアップにより、全事業完了後の平成28年度1年間の入場者数を計測し、評価値（確定値）とする。

## 指標② 認識度調査アンケート 【計測時点：平成27年10月1日】

◇大湊地区の無作為抽出によるアンケート調査により、重要文化財の認識度を把握。

◇全ての事業が完了していないため、事業の効果を十分に把握できない。

→計測時点におけるアンケート調査の結果を評価値（見込み値）とする。

→フォローアップにより、全事業完了から約1年経過後の平成29年3月にアンケート調査を行い、その結果を評価値（確定値）とする。

## 指標③ イベント回数 【計測時点：平成27年10月1日】

◇庁内関係課からの聞き取り等により、イベント回数を計測。

→計測時点までの開催回数と計測時点以降の予定回数の集計により、**評価値（確定値）**とする。

## その他の数値指標① 観光交流センター（北の防人大湊 安渡館）入館者数 【計測時点：平成27年10月1日】

◇目標である交流人口の拡大を表す指標として、新規施設である観光交流センターの入館者数を把握し、目標に対する効果の発現を評価する。

◇観光交流センターの出入口に設置しているカウンタでの計測データを基に算出。

◇カウンタは双方向ともに計測するため、計測実数の1/2を入館者数とする。

◇評価基準日時点のデータの入手は不可能。

→平成27年4月～9月の実測値と平成27年10月～平成28年3月の推計値の集計により、**評価値（見込み値）**とする。

→平成27年10月～平成28年3月の推計値は、近隣施設である北洋館の平成26年度の入館者数のデータを活用する。

◇全ての事業が完了していないため、事業の効果を十分に把握できない。

→フォローアップにより、全事業完了後の平成28年度1年間の入館者数を計測し、**評価値（確定値）**とする。

# 数値目標の達成状況

## 指標① 北洋館入場者数

### 【指標の達成状況】

従前値 (H21年度)	目標値 (H27年度)	モニタリング値 (H25年度)	評価値（見込み値） (H27年度)	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
5,577 人/年	10,400 人/年	8,843 人/年	10,626 人/年	○	—

### 【モニタリングの実施状況】

- ◇都市再生整備計画には記載していないが、実施した。
- ◇指標値が改善傾向にあることが確認できた。
- ◇今後は、北洋館も含めた、北の防人大湊地区の各関連施設における入館者数の動向を把握していく。

### 【目標が達成された要因】

- ◇観光交流センター、展望台などの観光施設のほか、駐車場、園路、案内サイン等の整備による、景観づくりや観光・交流ゾーンの形成により、回遊性の向上及びイベント回数の増加につながり、水源池公園への来訪者が増加した効果により、目標値を上回った。

### 【今後の活用方針】

- ◇重要文化財や石造り建造物が集約している水源池公園周辺一帯を観光資源としてPRすることにより、入場者数の増加につなげていく。

# 数値目標の達成状況

## 指標② 認識度調査アンケート

### 【指標の達成状況】

従前値 (H22年度)	目標値 (H27年度)	モニタリング値 (H25年度)	評価値（見込み値） (H27年度)	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
19.2 %	75.0 %	22.1 %	18.0 %	×	なし

※目標達成度：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない。

※1年以内の達成見込み：認識度が20%前後のほぼ横ばいで推移しており、改善傾向がみられず、目標値と評価値の差が大きい。

### 【モニタリングの実施状況】

◇都市再生整備計画に記載し、予定どおり実施した。

◇指標値である正答率は微増したものの、目標値にはほど遠い結果となった。

◇今後は、案内サインの設置、観光PRポスターやリーフレットの作成、市ホームページの充実などのほか、近隣施設におけるPR活動を強化し、重要文化財に興味を持つ市民の増加を図り、認知度の向上につなげていく。

### 【目標が未達成となった要因】

◇アンケート調査の結果、水源池公園に年3回以上訪れる市民が約3割しかいないことが判明し、重要文化財にふれる機会が少ない状況であるほか、重要文化財をPRするための地域交流センター（収蔵庫）や案内サイン等の整備が、アンケート調査時点では未完成であったことから、重要文化財のPR不足となったことにより、目標値を下回った。

### 【改善方針】

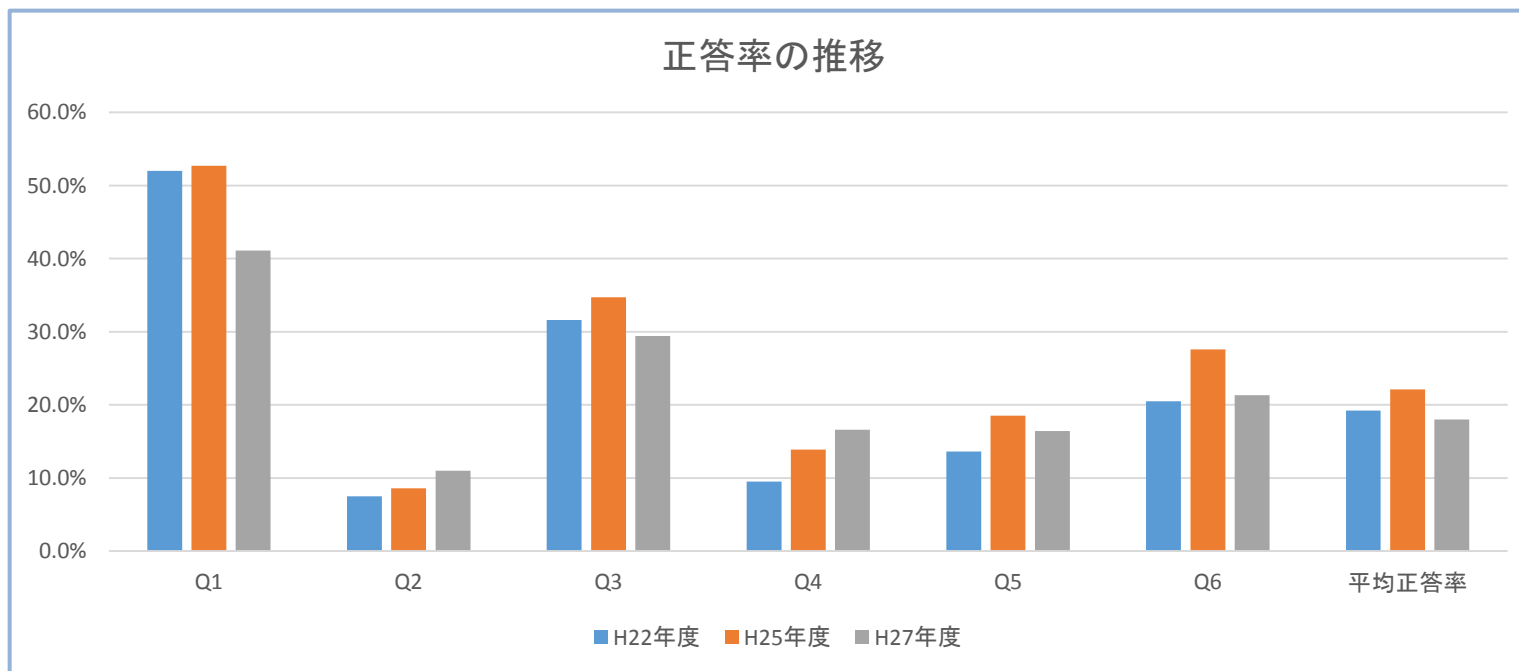
◇市のホームページ、広報誌のほか、案内サインの設置や関連施設における広報等により、アンケート調査結果を踏まえた重要文化財のPR活動を展開する。また、水源池公園周辺の重要文化財や石造り建造物に関するイベントの開催や重要文化財に関する学習の機会の提供など、重要文化財にふれあう機会を創出することにより、水源池公園周辺を訪れる市民の増加と市民の重要文化財に対する関心度・認知度の向上を図り、併せて、市民の観光客に対するおもてなしの心を育てる。



## 指標② 認識度調査アンケート

### 【アンケート調査概要】

実施時期	発送数	回収数	回収率	正答率
平成22年度	4,800 件	1,043 件	21.7 %	19.2%
平成25年度	1,000 件	319 件	31.9 %	22.1%
平成27年度	1,000 件	381 件	38.1 %	18.0%



# 数値目標の達成状況

## 指標③ イベント回数

### 【指標の達成状況】

従前値 (H22年度)	目標値 (H27年度)	モニタリング値 (H25年度)	評価値（確定値） (H27年度)	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
3回/年	7回/年	3回/年	8回/年	○	—

### 【モニタリングの実施状況】

- ◇都市再生整備計画には記載していないが、実施した。
- ◇指標値に変化がないことを確認した。
- ◇今後も、水源池公園周辺におけるイベント回数の動向を把握していく。

### 【目標が達成された要因】

- ◇観光交流センターをはじめとして、公園、駐車場、ポケットパーク等の整備により、誰もが訪れたいくなる環境が創出され、イベントの開催機運が高まった効果により、観光交流センターや公園内を活用したイベントが増加し、目標値を上回った。

### 【今後の活用方針】

- ◇イベントの継続的かつ効率的な開催により、水源池公園周辺における賑わいを創出し、水源池公園周辺を訪れる市民や観光客の増加につなげていく。

# 数値目標の達成状況

## 指標③ イベント回数

### 【平成27年度のイベント開催内容】

No.	月日	イベント名	主催者	開催場所
1	4/29～5/6	むつ桜まつり	むつ市観光協会	水源池公園
2	5/24	大湊海軍まつり	むつ商工会議所	水源池公園
3	5/24	マリンフェスタ in大湊	海上自衛隊大湊地方隊	大湊基地 大湊航空基地
4	7/19	安渡館フェスタ2015	むつ市	北の防人大湊 安渡館 水源池公園
5	7/19	食の味力発見 inむつ市	むつ市	北の防人大湊 安渡館
6	10/11	艦隊これくしょん・艦これオンリー同人誌即売会	SDF	北の防人大湊 安渡館 水源池公園
7	10/18	安渡館Autumnフェスタ2015	むつ市	北の防人大湊 安渡館
8	2/6(予定)	安渡館ウィンターフェスタ2016	むつ市	北の防人大湊 安渡館



No.4 安渡館フェスタ2015



No.6 艦隊これくしょん・艦これ  
オンリー同人誌即売会



No.7 安渡館Autumnフェスタ2015

# 数値目標の達成状況

## その他の数値指標① 観光交流センター(北の防人大湊 安渡館)入館者数

### 【指標の達成状況】

従前値 (H22年度)	目標値(参考) (H27年度)	モニタリング値 (H25年度)	評価値(見込み値) (H27年度)	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
—	20,000 人/年	—	50,959 人/年	—	—

※目標値：都市再生整備計画では目標値の設定はないが、市商工観光課が設定した目標値を参考値とする。

※都市再生整備計画への指標の記載がないため、目標達成度及び1年以内の達成見込みの評価は不要。

### 【目標が達成された要因】

◇当地区に不足していたカフェテリアやおみやげ店を備えた観光交流センターのほか、道路、駐車場、園路、

案内サイン等の整備により、誰もが訪れたいくなる環境が創出されたことや、イベント回数が増加した効果により、多くの市民や観光客に利用され、目標値を上回った。

### 【今後の活用方針】

◇重要文化財や石造り建造物が集約している水源池公園周辺一帯を観光資源としてPRすることにより、入館者数の増加につなげていく。

# 定性的な効果発現状況

## 定性的な効果発現状況（指標とは別に、定量的に表現できない効果）

- 「旧学習センター」を改修した「みどりのさきもり館」では、「花とみどりの講習会」などの花やみどりに関する催しが開催され、市民参加者からの好評を得ているほか、市内におけるみどりと花のまちづくりの拠点となっている。
- 「花とみどりの講習会」への参加者に、「観光交流センター」のカフェで利用できるドリンク券を配布するなど、施設間の連携を図っており、相互の賑わいを創出している。
- 駐車場、園路のバリアフリー化のほか、ポケットパークや便益施設などの整備により、介護施設の入所者が団体で訪れるなど、新たな交流や憩いの場として利用されている。
- 園路、トイレなどの整備や景観づくりにより、散歩やジョギングなどで多くの市民に利用されている。



# 住民参加プロセスの実施状況

## 【実施内容】

対象地区における景観づくりを継続させるための景観ルールを策定するため、市民協働によるまちづくり手法として、ワークショップを開催した。

## 【実施時期】

平成25年度～26年度（計5回）

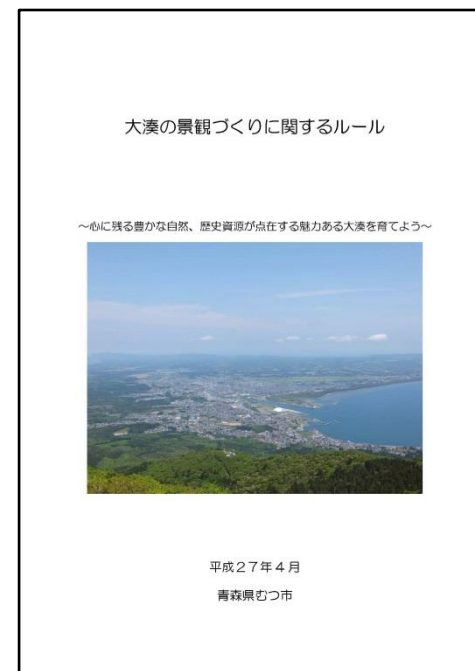
## 【実施結果】

市民、事業者、行政が共通の目標を持ち、それぞれの役割を認識し、効果的に取り組んでいくための意見交換を行い、いただいた意見をもとに「大湊の景観づくりに関するルール」を策定した。

## 【今後の対応方針等】

まちづくりや事業の実施にあたっては、地域住民・団体との連携を図り、必要に応じ意見交換等を行う。

【ワークショップの様子】



# 事後評価原案の公表

## 【事前周知】

平成27年11月25日発行の広報誌への掲載により公表の概要を周知

## 【公表期間】

平成27年12月14日（月）～平成27年12月28日（月）

## 【公表方法】

都市政策課窓口での閲覧および市ホームページへの掲載

## 【市民意見の募集】

提出期限：平成27年12月28日（月）午後5時まで

提出方法：都市政策課へのメール、FAX、郵送、持参

→意見の提出なし

北の防人大湊地区都市再生整備計画事業  
今後のまちづくり方策について

平成28年1月



# 今後のまちづくり方策

事後評価結果や、計画段階におけるまちづくりの課題の改善状況を踏まえ、  
 ☆改善された課題：その効果を持続する方策  
 ☆残された課題・新たな課題：その課題を改善するための方策 を整理し、  
**→ 今後のまちづくりに活かしていく**

課題① 公園施設の魅力が失われている。園路や駐車場のバリアフリー化がされていない。

改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーに対応した園路、駐車場の整備のほか、各施設においてもバリアフリーに対応させ、高齢者、障がい者、市民、観光客など誰もが訪れやすい環境を創出した。</li> </ul>
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる基盤整備はほぼ完成したため、景観形成を考慮した適切な維持管理に努める。</li> <li>・市民とともに、景観づくりを進める。</li> </ul>
想定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観づくりを考慮した公園施設や建築物等の維持管理</li> <li>・「大湊の景観づくりに関するルール」の普及</li> <li>・景観法に基づく景観計画の策定による景観づくりの推進</li> </ul>

課題② 売店や軽食機能などの便益施設の未整備による市民や観光客の受入れ機能が低下している。

改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流センター内に海軍グッズや海上自衛隊グッズなどを販売する売店やカフェテリアなどの便益施設を整備し、市民や観光客などの受入れ機能を向上。</li> </ul>
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる基盤整備はほぼ完成したため、便益施設等におけるソフト面での受入れ機能の強化に努める。</li> </ul>
想定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ等の研修事業</li> <li>・ボランティアガイドの育成</li> <li>・下北ジオパーク構想との連携</li> </ul>

課題③ 観光資源として活用が可能な明治時代からの旧海軍官舎等の施設について、市民・観光客の受入れ施設としての活用がすぐには難しい状態である。

改善状況	・海軍士官の官舎や社交場として建設された石造り建造物を、「北の防人大湊 貳番館」や「北洋館」などの観光資源として活用することにより、憩いの場の創出や交流人口の拡大を図る。
今後の方策	・重要文化財や石造り建造物が集約している水源池公園周辺一帯を、景観を活かした観光資源として、市ホームページや観光PRポスター・リーフレットなどによるPR活動に努める。
想定事業	・リーフレットの配布拡大 ・市のホームページや広報誌によるPR強化 ・イベントの実施
残された課題	・海軍士官の官舎として建設され、後に高等学校の女子寮として使用されていた石造り建造物を「北の防人大湊 壱番館」として改修する計画としていたが、計画変更により削除したため、未着手の状態となっている。
改善策	・大正4年に建造された当施設は、外部・内部共に建造当初の状態が維持され、歴史的価値が非常に高いと判断されていることから、保存活用についての検討を行う。
想定事業	・旧女子寮保存活用事業

課題④ 重要文化財に対する認識度が低い。

改善策	・市のホームページ、広報誌、案内サインのほか、関連施設における広報等により、重要文化財のPR活動を強化する。 ・水源池公園周辺の重要文化財や石造り建造物にふれあう機会を創出する。
想定事業	・市のホームページ、広報誌、案内サイン等によるPR強化 ・イベントの実施 ・ボランティアガイドの育成 ・重要文化財に関する学習の機会の提供

指標	単位	予定時期	計測方法
北洋館入場者数	人/年	平成29年4月	平成28年4月～平成29年3月の入場者数を集計し、確定値とする。
認識度調査アンケート	%	平成29年4月	平成29年3月に実施するアンケート調査により、認識度を把握し、確定値とする。
イベント回数	回/年	—	—
観光交流センター入館者数	人/年	平成29年4月	平成28年4月～平成29年3月の入館者数を集計し、確定値とする。

## 事後評価における今後のスケジュール

## ◇事後評価（原案）の公表・市民意見の募集

公表期間：平成27年12月14日（月）～12月28日（月）

公表方法：都市政策課での閲覧及びホームページへの掲載（広報により周知済み）

意見募集期間：平成27年12月14日（月）～12月28日（月）

意見募集方法：都市政策課への電子メール、FAX、郵送、持参

市民意見を参考に、必要に応じて見直し

## ◇都市再生整備計画評価委員会（都市計画審議会）の審議

現在

日時：平成28年1月21日（木）

これまでの評価及び整理の結果を取りまとめ

## ◇国・県への提出

日時：平成28年2月中旬（予定）

国・県からの指摘事項修正

## ◇国・県への提出

日時：平成28年3月中旬（予定）

## ◇事後評価結果の公表

公表期間：平成28年3月下旬～（予定）

公表方法：都市政策課での閲覧及びホームページへの掲載（広報誌により周知）